

**東京湾の環境改善に民間企業の力を活用
-横浜港においてアマモ場の再生に取り組む企業を募集します-**

今般、横浜港において、アマモ場を再生する取り組みのため、港湾区域の一部（横浜ベイサイドマリーナに隣接する公共水域）を市民等に開放することにしました。

開放にあたっては、NPOや市民等の多様な主体と協働し、アマモ場の再生による環境改善に関して創意工夫あふれるアイデアを持ち、自らも積極的に取り組んで頂ける企業を、具体的な提案とともに募集します。

その中から優れた提案の企業を選定し、開放水域において、環境改善活動に取り組んで頂きます。

これは、日本初の試みで、東京湾の再生のため官民連携を柱にした「東京湾再生行動計画（第二期）」の施策のひとつであり、企業、NPO、市民等の協働による積極的な取り組みと海域環境の改善に大きな期待をしています。

このような活動を通じ、私たち一人一人が海への理解や関心（愛）を高め、多くの人に広まることを願い、本プロジェクトを「東京湾・海（Umi）をみんな（Min-na）で愛（I）するプロジェクト」＝愛称「UMI プロ」と称しています。

今回の募集は、このUMIプロの第一歩です。

<募集の概要>

- 主催・後援 主催：東京湾再生推進会議海域対策分科会
後援：横浜市港湾局
- 開放区域 横浜市金沢区白帆 人工干潟（約200m×約100m）（別紙位置図参照）
- 開放期間 平成25年10月～26年3月末まで
- 応募資格 次の要件を満たす企業を対象とする。（詳細は募集要項を参照のこと）
①ルールを守り、熱意を持って取り組めること。
②NPOや一般市民等、多様な者と協働で実施する体制であること。
③実施から安全管理まで、応募者の責任のもとに実施できること。
④活動終了後、積極的な活動報告ができること。
⑤活動に係る費用を負担できること。
- 応募期間 平成25年8月5日（月）～8月30日（金）

*募集要項のダウンロード及び詳細については、関東地方整備局港湾空港部HPまたは横浜市港湾局HPをご覧ください。

関東地方整備局港湾空港部：<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/>

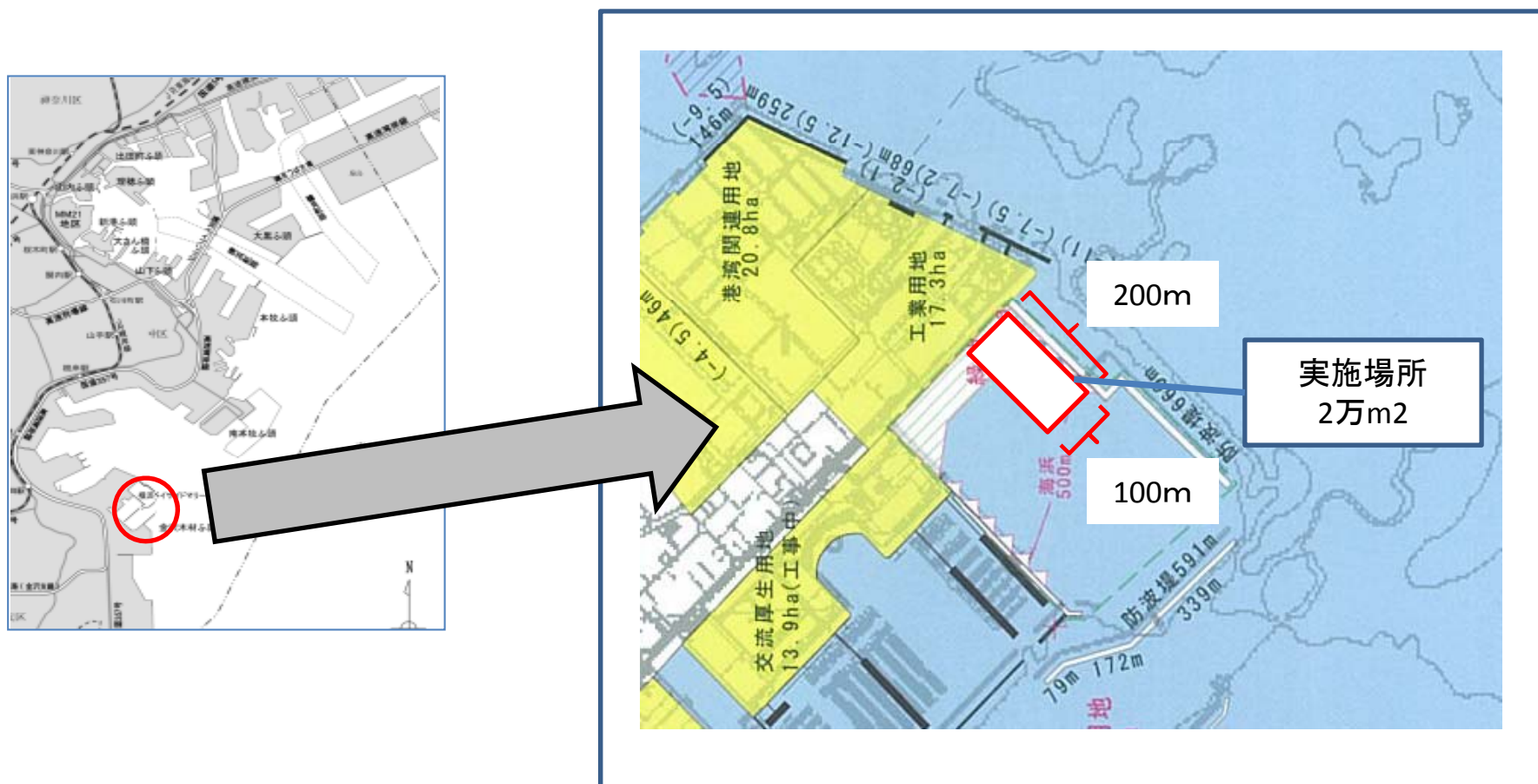
横浜市港湾局：<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/basicinfo/green/>

<問い合わせ先>

- 募集要項及び本件に関する詳しい内容
国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部（事務局） 松坂、松森
(TEL：045-211-7404 内線：5905、5838)
- 東京湾再生行動計画に関する内容
国土交通省 港湾局 海洋・環境課 戸谷、清水
(TEL：03-5253-8685 内線 46673、46654)

《開放区域の位置図》

開放区域： 横浜港ベイサイドマリーナ近隣（横浜市金沢区白帆）



横浜港におけるアマモ場再生に取り組む企業募集について(概要)

～「東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト(通称:UMIプロ)」の第一歩～

参考資料

■目的: 多様な主体による東京湾の再生活動の輪を広げるため、東京湾の公共水域において、NPOや一般市民等の多様な主体と協働でアマモ場再生に取り組む企業を募集し、生物多様性を確保すると共に、その活動を通して、人々の海への理解や関心を高める。

■場所: 横浜市金沢区白帆

■実施期間: 平成25年10月～平成26年3月末 (公募: 8月5日(月)～30日(金))

《実施イメージ》

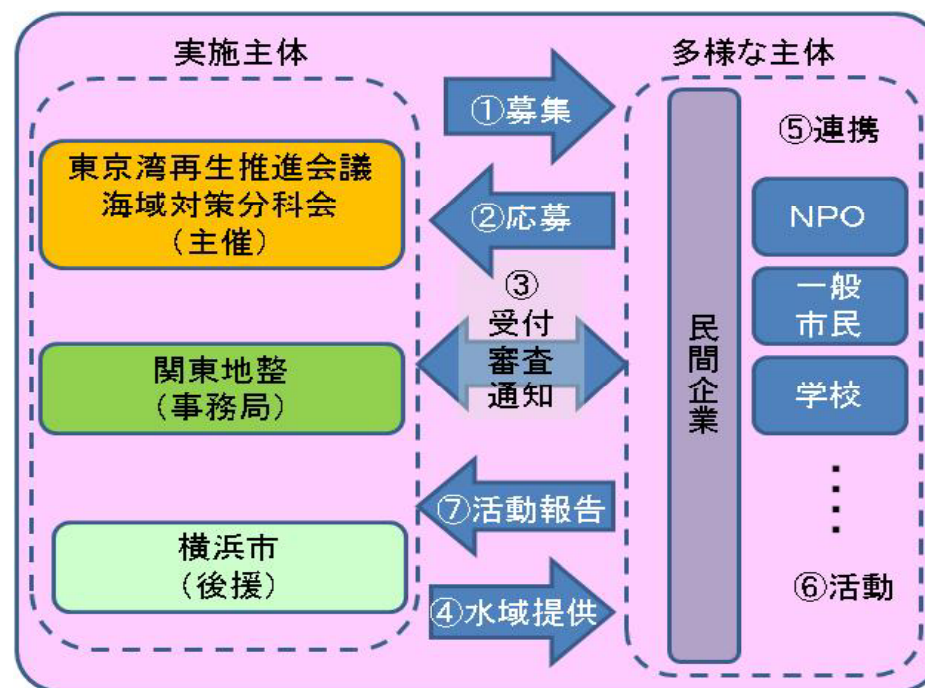
企業等による
アマモの育成
(企業・NPO等)

水域の提供
(港湾管理者)



公募エリア

《応募から活動の流れ》



《参考》「東京湾再生のための行動計画(第二期)」

3. (2) 海域

＜海域における環境改善のための施策＞

海域環境改善に向けた活動の輪を広げるため、NPOや企業、漁業者等による藻場等の造成を推進する